



今年の抱負

校長 中村 篤

新年おめでとうございます。冬休みの間、子どもたちは大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。無事に始業式を迎えることができたのも、子どもたちの生活を見守ってくださった保護者・地域の皆様のご協力によるものと感謝申し上げます。

少し前の12月23日、終業式の日のお出来事です。下校の安全指導のために外に立っていると、私を見つけた1年生が何十人も次々に寄ってきて、「よいお年を！」とあいさつをしてくるのです。後でわかったことですが、その児童の学級担任が「感謝の気持ちを伝えられるといいね」と指導をしてくれていました。それを素直に受け取り、実践できる城北小の子どもたちは素晴らしいと思いました。また、その他の子どもたちも、大きな声で「さようなら」「1年間ありがとうございました」とあいさつをしてくれ、大変感激しました。ぜひ、3学期も元気いっぱいあいさつができることを期待しています。

さて、新年を迎えるにあたり、お子様はどのような目標を立てたでしょうか。我が家では家族全員、元日に新年の抱負を発表することが恒例となっています。私の今年の抱負は2つあります。抱負を決めた理由をご紹介します。

今、私は料理をすることにはまっています。小学生のころから好きで、ちょこちょこお菓子作りなどをしていたのですが、最近は某チェーン店のスパゲッティのトマトソースの味を再現しようと試行錯誤しています。一番苦労しているのは、トマトのコクを残しながら、いかにして酸味を和らげるかということです。ネットで調べると、長時間煮込む、砂糖を入れる、重曹を入れるなど、いろいろと対応策が見つかります。加える食材や調味料もいろいろ試し、それなりにおいしいソースは出来上がるのですが、なかなか目指す味にはなりません。トマト缶によっても味が変わるようなので、今度はいろいろな種類のトマト缶を試してみようと思います。

また、私が料理を始めると毎回子どもたちに「また始まったよ。今日やらなければいけない仕事があるの？また現実逃避してる」と言われます。そのとおりです。最近、切羽詰まった仕事があるとつい料理を始めてしまいます。テストが近くなると部屋の片付けをし始める、あれと同じやつです。学生時代から、始めればすぐに終わることでもぎりぎりまで手を付けることができず、これではだめだとわかっているけど同じことを繰り返してしまうのです。これは長年で身に付いてしまった性格なので改善することは難しいかもしれませんが、このままで良いわけはありません。

以上のことから、私の今年の抱負は、①何事にもすぐに取り掛かるように努力すること、②究極のトマトソースのレシピを完成させること、としました。

いよいよ、3学期が始まりました。子どもたちには、自分の目標や課題をしっかりともち、それらを一つでも多く達成できるように努力を続けて欲しいと思います。教職員一同、チーム城北小一丸となって子どもたちのさらなる成長のために教育活動を展開してまいります。本年も保護者、地域の皆様のあたたかなご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。